有野向山里づくり計画

# 令和３年１１月
# 有野向山里づくり協議会

# 目　　次


第１章　地区の概要

(1)　　　地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

(2)　　　地区の画像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

(3)　　　地区の立地条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

(4)　　　地区の人口統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

(5)　　　地区の特産品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

(6)　　　地区の行事等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4

(7)　　　地区の伝承等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5

(8)　　　地区の問題点及び課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

(9)　　　農村用途区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7

第２章　地区の整備の目標及び方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

第３章　農業振興計画

(1)　　　営農環境の維持・改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

(2)　　　獣害対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

第４章　環境整備計画

(1)　　　有野向山地区の主な施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9

(2)　　　生活環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11

第５章　土地利用計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12

有野向山里づくり計画の策定経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13


（下段部　参考文献など表記）

表紙の写真について

①　田尾神社

②　田尾神社

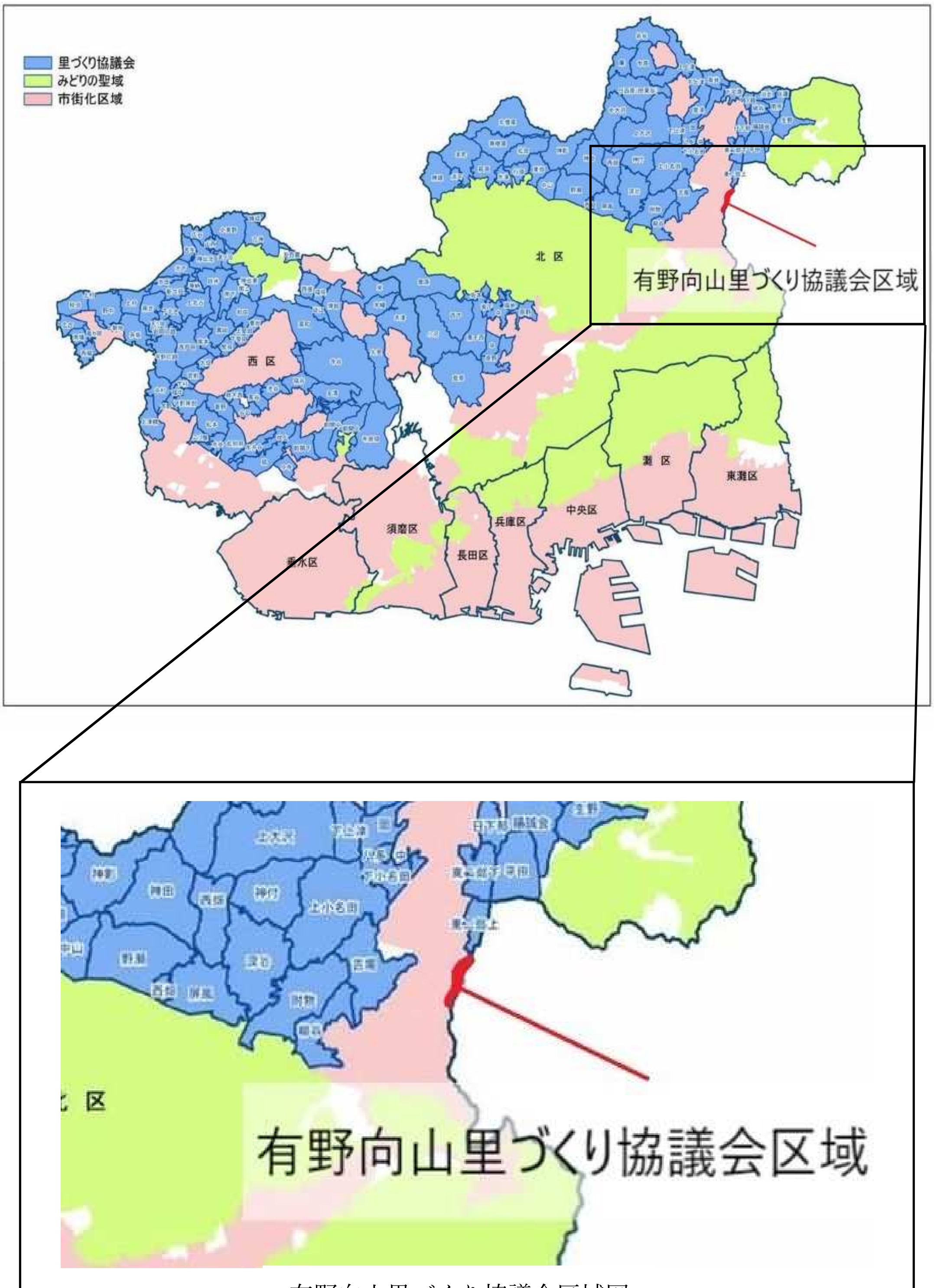
③　有野川

④　結場橋

⑤　沿道（紫陽花）

⑥　おねがい地蔵

第１章　有野向山地区の概要




有野向山里づくり協議会区域図

有野インター交差点付近

©2021 Google

有野川を空中から望む

©2021 Google

（1）有野向山地区の立地条件

有野向山地区は、神戸市北区の北東部に位置しており、田尾寺・結場の 2 地区で構成されている。当集落は、古くから神戸市街と北部地域を結ぶ交通の要衝として有名な通称「有馬街道」沿いにあり、同じように集落沿いには有野川が流れている。中心部は、有野インター交差点を中心に、中国自動車の西宮北 IC や南側には阪神高速北神戸線五社 IC があり、自動車でのアクセスは非常に利便性が高い。また、有馬街道西側を沿うように神戸電鉄があり、近接する田尾寺駅から神戸の中心地まで容易にアクセスできる。

（2）　地区の人口統計（国勢調査より）

| | 2005 年 | 2010 年 | 2015 年 |
|---|---|---|---|
| 世帯数 | 779 | 944 | 1,226 |
| 人口 | 2,308 | 2,560 | 3,064 |

（3）　有野向山地区の営農状況（農林業センサスより）

| | | 2005 年 | 2010 年 | 2015 年 |
|---|---|---|---|---|
| 農家戸数 | | 6 | 11 | 10 |
| | 専業農家 | - | - | 3 |
| | 第 1 種兼業農家 | 1 | 1 | 2 |
| | 第 2 種兼業農家 | 5 | 10 | 5 |
| 農家人口（人） | | 20 | 35 | 21 |
| 農地面積(a) | | 278 | 553 | 416 |
| | 田 | 274 | 551 | 407 |
| | 畑 | 2 | 2 | 9 |
| | 樹園地 | 2 | - | - |

（3）地区の特産品

地区内では、主にいちご（章姫-あきひめ・宝交早生-ほうこうわせ）や米（キヌヒカリ）が栽培されている。章姫は、多くのイチゴが横長の円錐形であるのに対して、縦長の円錐形であるのが特徴である。果肉はやわらかめで甘みが強く、酸味は少ない。また果汁が豊富である。

www.pakutaso.com

(4)　地区の行事等

有野町（全域）

有野町には古来よりお当（塔）という特殊行事が各地区で大切に営まれている。お当は、有野町を開拓して集落を作った先人達が、神仏を祭って守神、守寺として信仰の中心と定め、献灯・奉仕に努めたことを起源とされる。「当人」の家柄は厳格に定められており「当人」以外の家柄が入当することは許されていない。また、お当の当日上座に座して、「当」の引継ぎを指図する家も定められている。当人の家柄は社寺に最も深く尽力した家系であり、地元の名家である。

「当日」は当人の新旧交代の式をする日であり、社寺の創建日、又は社寺に関係ある日に定められている。

田尾寺地区：

１月８日に１２戸が田尾神社に集まり執り行われる特殊行事で、天王講とも呼ばれている。当人は満１ヶ年、田尾神社への奉仕を承役し、献灯や掃除を行う。お当の当日には田尾神社の神前で神事を執り行い、地域住民で祝詞をあげ、神事のあとは公会堂に集い、地域の総本社である有間神社の宮司を迎えてお神酒を賜る。宮司より受ける酌の順序は厳格に定められている。田尾寺地区のお当は１３００年の歴史を誇り、歴代の当人の名前が連綿と伝えられている。

結場地区（八幡神社）：

「当日」は、有間神社の宮司を丁重に招き、祝宴を催す。席次は神社創設に尽力した家系を上席に据えている。

（5）　地区の伝承等

有野町（村）は、中世のころから有野壮と呼ばれ、江戸時代には唐櫃、下司、中村、二郎の 4 か村があった。江戸時代には、1690 年（元禄 3 年）のころ下司村から切畑、堀越、岡庭の三村が、また、中村から西尾、馬場、結場、田尾寺の四か村が分村した。（有野町誌より抜粋）

田尾寺の呼び名の由来は、地域の檀那寺でもある東尾寺（とうおうじ）から転じて田尾寺と呼ばれるようになったとの言い伝えが残る。また、結場の由来は、豊臣秀吉がこの地に立ち寄った際に、この地で乗っていた馬を結わえたことから結場と呼ばれるようになったとの言い伝えが残っている。

道場城

道場城は武庫川の上流、有野川と有馬川が分岐したあたりにあり、国道１７６号線が脇に走っている交通の要衝にある。築城者は南北朝時代に播磨の守護赤松円心則村の四男弾正少弼氏範であり、三田城主だったときに有馬郡一帯に城砦群を設置し、この道場川原にも城を築いたのであった。

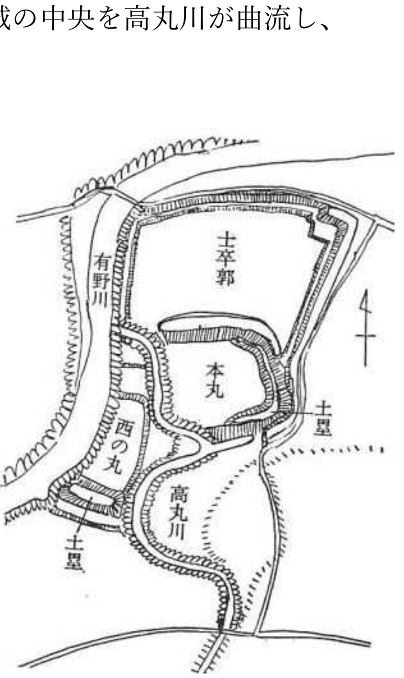
こうしてしばらく松原氏による統治が続けられたのであったが、天正七年（１５７９）、羽柴秀吉の大軍が押し寄せあっという間にその軍馬に蹂躙されてしまった。秀吉の播磨攻めである。

以降は秀吉の後方基地としていたようだが、やがて有馬氏の所領となり城は廃城となった。（「ひょうごの城紀行（上）」神戸新聞総合出版センターより抜粋）

有野城

有野城は有野川の南岸、高丸川の合流点にある平城で、城の中央を高丸川が曲流し、しかも城地は付近で一番低い場所を占拠している。この城は「西尾城」とも、「切畑城]とも、または「岡場城」ともよばれ、室町時代の中期頃は有馬氏の居城であったのであろう。そして室町時代の末期は西尾備前守が居城したと伝えられ、広大な士卒郭には多数の家臣団が居住したであろう。天正 7 年（1579）の三木合戦の時もこの城をめぐって合戦があった。

（地図・写真＆解説文は「日本城郭大系 12」より抜粋）



（6）地区の問題点及び課題

農業振興

今後、農地の持続的な保全に向けて、担い手の確保等対策が望まれる。後継者不足、若い世代の人口が減少し、農業後継者が不足している。隣接する二郎では農業後継者を外部から受け入れているが、田尾寺では現状受け入れていない。今後は地元住民との親和性、融和性を考慮しつつ、外部から受け入れることも検討材料となりうる。

少子高齢化

田尾寺・結場両地区に於いても、全国的に問題となっている少子高齢問題は深刻である。若年世帯の減少は地区だけの問題ではないが、上記の後継者問題同様に地区や住民努力だけでは解決が難しい。

ゴミステーションへのポイ捨て

神戸市指定の袋に入れずに一般のレジ袋などでゴミ出しされているケースがたびたび発生している。また冷蔵庫など大型のゴミが違法に放置されていることもあり、自治会の費用で処分せざるを得ない状況が見られる。住民モラルの周知や監視カメラでの抑止など行政の支援も必要としている。

有害鳥獣による被害

以前は秋口から発生していたイノシシによる農作物被害が、近年では春先から発生している。また、アライグマが農作物を荒らす被害も散見される。

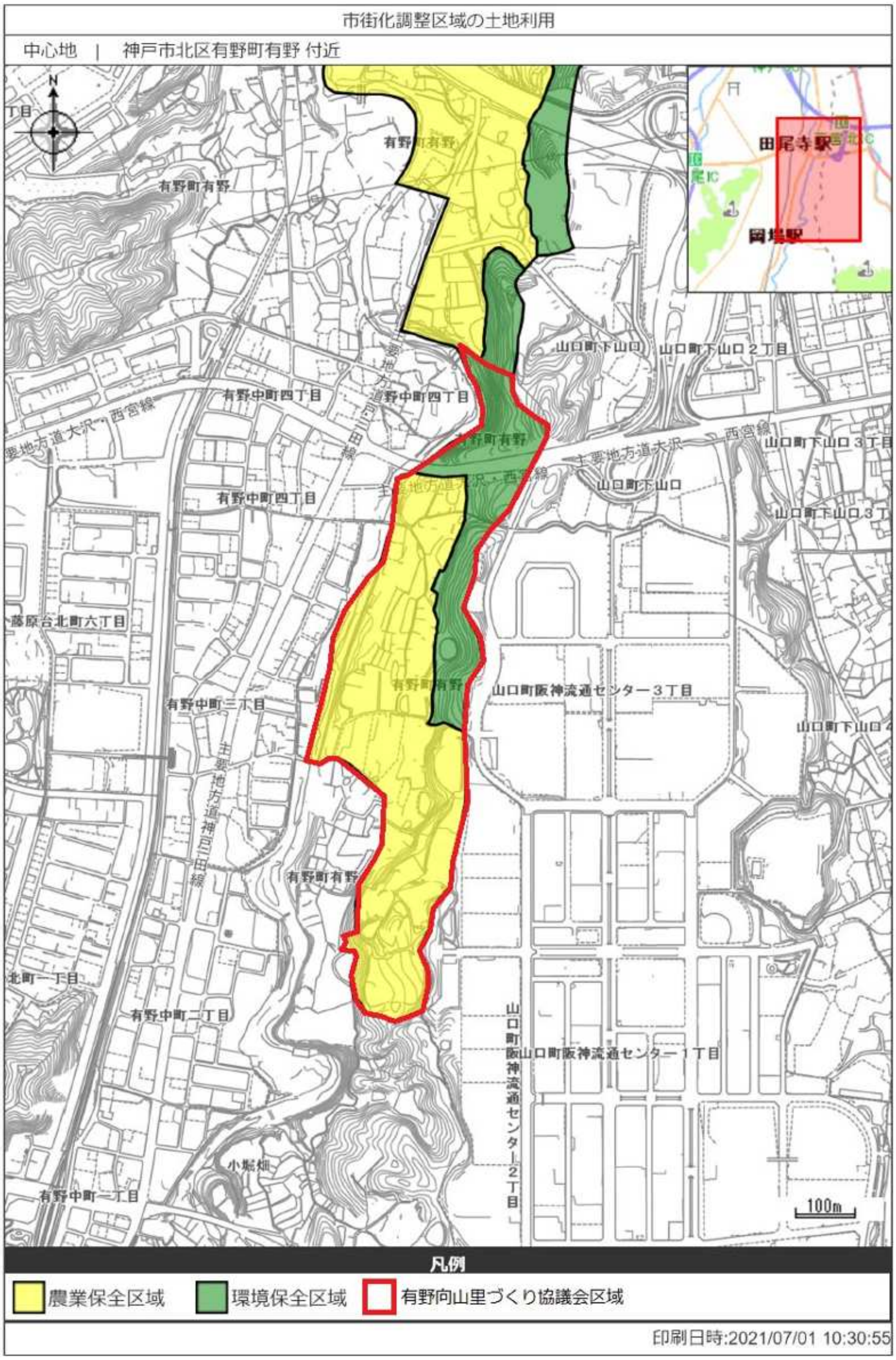
住民だけの力では具体的な対策を講じる事が難しい問題であり、他の地区も同様の問題を抱えているために広域的な対策、支援を必要としている状況である。

交通問題

有馬街道（県道 15 号線）から田尾寺駅に抜ける道は、以前は大型車両バスのみが通行していたところ、近年では大型車両も通行するようになった。一方で、幅員は以前と変わっておらず、危険を感じることがある。

(7)農村用途区域

有野向山地区の農村用途区域は、環境保全区域と農業保全区域からなっている。農村用途区域に関し、現在定められている区域設定を変更しないものとする。



## 第 2 章　地区の整備の目標及び方針

田尾寺・結場の資源を活かして、地域の活性化および安全で住み良い環境づくりを基本目標とし、以下の点を軸に魅力ある里づくりを進めていく。

1　農業を振興するための条件整備

2　誰もが住みよい生活環境の整備

## 第 3 章　農業振興計画

### (1) 営農環境の維持・改善

田尾寺・結場地区の営農環境

地区内では、主にいちご（章姫-あきひめ・宝交早生-ほうこうわせ）や米（キヌヒカリ）がある。

章姫は、多くのイチゴが横長の円錐形であるのに対して、縦長の円錐形であるのが特徴である。果肉はやわらかめで甘みが強く、酸味は少ない。また果汁が豊富である。

キヌヒカリは、収 2800 と北陸 100 号の子を母、北陸 96 号を父として交配し誕生した品種である。背丈が低いために稲が倒れにくく、関西でも広く作付けされている品種である。粘りはコシヒカリほどではないものの、食味が似ており、人気を集めている。

有野川流域

田尾寺・結場両地区は自然豊かな有野川が流れており、良好な自然環境が保たれている。この豊かな自然環境を維持管理し後世に残していけるように地域の環境美化を維持しなくてはならない。

農業従事者の減少

市街地住民との交流は、地域発展と維持に必要不可欠である。結場地区では以前は夏祭りが催されるなどしていたが、こうした取り組みを復活させ地域を活況させる事も重要である。その為には農業に興味を持つ外部からの住民を受け入れ、関係人口を増やすことが大切である。

### (2) 獣害対策

イノシシ・アライグマ等による農産物被害が多発している。作物そのものの被害の他、掘り返しによる被害も大きい。電気柵などの対策も考えられるが、費用対効果の有効性や設置費用の問題など考えるべき課題は少なくない。

## 第 4 章　環境整備計画

(1)　地区の主な施設

田尾寺公会堂

所在地：北区有野中町四丁目 3 番 13 号

東尾寺（浄土宗　日照山）

所在地　神戸市北区有野中町四丁目

３番５号

東尾寺　⇒

2021.6.30 撮影

田尾寺橋

⇐田尾寺橋

2021.6.30 撮影

結場橋

所在　　神戸市北区有野町有野

結場橋　⇒

2021.6.30 撮影

神戸市北農協水稲育苗センター
所在　神戸市北区有野町 2823

2021.6.30 撮影

結場新講会館
所在　神戸市北区有野中町三丁目 5 番

2021.6.30 撮影

2021.6.30 撮影

結場神社
所在　神戸市北区有野中町三丁目

2021.6.30 撮影

（2）生活環境

① 安全対策

地区内には、現時点での聞き取りで、危険個所や地区を巡回中に気付いた点を幾つか以下にまとめた。

1）田尾寺交差点から西側へ向かうバス道は、現在では大型トラックの交通量が増え、幅員は以前のままなので、地域の歩行者などの安全が脅かされている。

↑田尾寺交差点から西側を撮影
2021.6.30

2）県道 15 号線（通称有馬街道）沿いには多くの大型商業施設が立ち並んでおり、出入りの車両との歩行者、自転車等の交通弱者への事故防止対策も強化する必要がある。

↑県道15号線（通称　有馬街道）

3）地区内には、細い路地が多くあり、一時停止表示もない交差点が点在する。子供たちが集う公園付近の道路も一時停止が無いことや、県道 15 号が渋滞時に迂回する車両が高速で走り抜ける事もあり危険と感じる。

©2021 Google

第 5 章　土地利用計画

地域の環境や景観に配慮した秩序ある土地利用を計画的に進める。

秩序ある土地利用を計画的に推進し、農村らしい景観の保全及び形成に努めることが大切であり、法令を順守して活性化を推進していく必要がある。

・農村用途区域の設定

「農業保全区域」　ほ場整備による優良農地のまとまりを中心として散居家屋などを含めて指定されている。当面区域変更は計画しない。

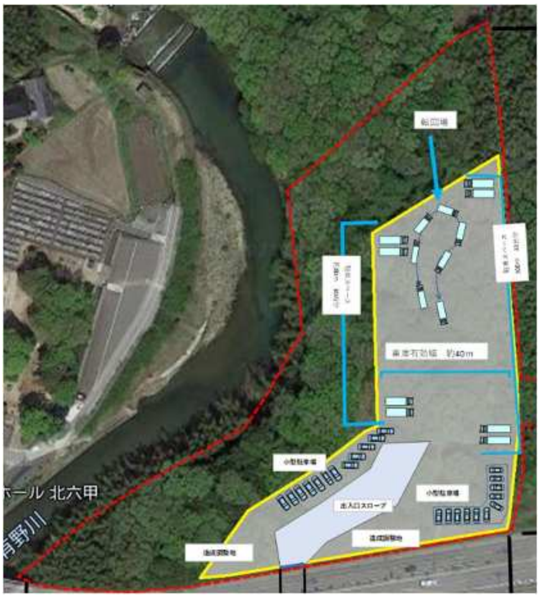
「環境保全区域」　里山等を主体として指定されている。当面区域変更は計画しない。

民間企業による駐車場開発計画

有野町有野字才の上において、西宮市に本社を置く KURAMOTO ホールディングス株式会社が、自車のトラック専用駐車場造成計画を進めている。

場所は、有野川沿いで県道 82 号線に面し、敷地面積約 3600 坪の内、約 2000 坪ほどを駐車場として利用し、残りは地域景観と環境保全のための緑地として現存する計画。

KURAMOTO ホールディングス株式会社では、地域雇用の拡大を進めており、地域経済の発展や地域社会との連携も真剣に考えており、地域活況の一因になりえる。




©2021 Google

| 番号 | 位置・面積 | 事業主体 | 用途/備考 |
|---|---|---|---|
| ① | 有野町有野 3289-5<br>610 ㎡ | KURAMOTO ホールディングス(株) | 現状有姿 |
| ② | 有野町有野 4136-1<br>11,704 ㎡<br>※内工事範囲<br>約 6,600 ㎡） | KURAMOTO ホールディングス(株) | 露天駐車場 |

有野向山里づくり計画の策定経過

| 日時 | 場所 | 協議事項 | 参集者 |
|---|---|---|---|
| 令和 2 年 10 月 | 北農業振興<br>センター | 里づくり計画について説明 | 北農業振興センター |
| 令和 3 年 1 月 | 田尾寺公会堂 | 里づくり計画について | 会長・次期会長 |
| 令和 3 年 5 月 | 会長宅 | 里づくり計画について | 会長 |
| 令和 3 年 6 月 | 会長宅 | 里づくり計画について | 会長 |
| 令和 3 年 6 月 | 田尾寺公会堂 | 里づくり計画　住民同意 | 会長・会計・住民 |
| 令和 3 年 6 月 | 北農業振興<br>センター | 里づくり計画について | 北農業振興センター |
| 令和 3 年 7 月 | 会長宅 | 里づくり計画について | 会長 |
| | | | |

第 1 期里づくり計画策定　策定メンバー

| 役職 | 氏名 | 補職 |
|---|---|---|
| 会長 | 川上　精一 | 田尾寺自治会長 |
| | 田中　寿幸 | 田尾寺自治会会計 |
| | 前田　利男 | 前田尾寺自治会長 |
| | 村田　薫 | 結場新講会~~自治会~~長 |
| | 乾　繁弘 | 田尾寺自治副会長 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※参考文献・資料・画像・協力者等提供先
・有野向山自治会
・有野向山にお住いの方々
・有野町誌　（神戸市有野更生農業協同組合）　昭和 63 年 6 月 20 日発行
・日本城郭体系 12　（新人物往来社）　1981/03/01 刊行
・地図「©2021 Google」